

おらだですっべ

令和5年12月12日発行
地域学校協働活動推進員

第2回学校運営協議会 & 授業見学を行ないました

12月8日、今年度二回目の学校運営協議会が開かれました。
校長より今年度のこれまでの学校活動についての説明を受けた後、
各クラスの授業の様子を見学しました。
本年度から導入された電子黒板や、タブレットを使いこなす生徒
たちの姿を見て、「自分たちの頃とは大分変わったなあ」という声が
聞かれました。

熟議「地域で中学生がやれること」

授業見学の後、運営協議会会長を座長に熟議が行われました。地域と学校の関わりには、どんな形
があり得るのか、以下のような幅広い意見が出ました。

- ・地域の文化祭等のイベントに子ども達が参加すると活気が出るので、ぜひ出てほしい
- ・地区の文化祭をダンス等の団体の発表の場としてもらうのはどうか
- ・合唱コンクールで歌った曲を地域でも発表してほしい
- ・授業で作った作品を展示するのも良い
- ・中学生はイベントの担い手となる力が十分あると感じている
- ・学校で中学生ボランティアの募集を行えないか（中学校の回答：可能）
- ・イベントを開催せずとも、公民館の障子貼りを育成会にも協力してもらうなどの交流もできる
- ・資源回収も中学生の地域活動の場となっているが、少子化で活動が難しい地区が出てきている
活動を続けていくために地域団体からも協力してもらえないだろうか

中学校側からは、「土日のイベントに学校として参加する場合は授業日として設定する必要があり、
他の行事との兼ね合いもあるためすぐに実現はできないが、地域との関わり方を考えながら計画を
立てていくことはできる。また、地域で子ども達が活躍する場面が増えていくといい」という考え
をお示しいただき、地域と学校が十分にコミュニケーションを取っていく重要性を改めて感じた熟
議となりました。

地域の皆様におかれましても、子ども達と地域との関わりについて考えていただけたら幸いです。